

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年12月20日

協議会名: 清須市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名・運行(航)区間・整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改善補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
つばめ自動車株式会社	オレンジルート 1便及び2～11便 西枇杷島会館～枇杷島駅～清須市役所～ヨシヅヤ清洲店 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】		A	・収支率【未達成】(あしがるバス全体の収支率) 目標:8.9% 実績:7.6% ・利用者数(年間)【未達成】 目標:17,000人 実績:12,589人(前年比94.3%、前々年比86.0%) ・利用者数(1便あたり)【未達成】 目標:4.3人 実績:3.2人 《分析》 収支率については、人件費や車両借上料が増加している一方で、利用者数が低迷して運賃収入が例年に比べ減少したことから、未達成となった。 利用者数については、市役所や新川福祉センターの利用が増加している一方で、鉄道駅やスポーツ複合施設は依然として利用を控える方が多く、キリンビアパークも工場見学中止が続いていることから、前々年比が86%に留まり、未達成となった。		
つばめ自動車株式会社	グリーンルート 1～11便 豊公橋北～枇杷島駅～須ヶ口駅～新清洲駅～ヨシヅヤ清洲店 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・あしがるバスのルート・ダイヤの見直しに向けて、市民アンケート調査等を実施し、それにより得られた市民の声や利用者のニーズ等を把握した。 ・地域公共交通会議では、要望や対応策について、意見シートを活用しながら対応できるものか検討し、ニーズに合わせた利便性向上に向けてルート改正案の協議を進めた。	A	・収支率【未達成】(あしがるバス全体の収支率) 目標:8.9% 実績:7.6% ・利用者数(年間)【未達成】 目標:26,500人 実績:22,568人(前年比98.3%、前々年比93.3%) ・利用者数(1便あたり)【未達成】 目標:6.7人 実績:5.7人 《分析》 収支率については、人件費や車両借上料が増加している一方で、利用者数が低迷して運賃収入が例年に比べ減少したことから、未達成となった。 利用者数については、未達成であったが、複数の商業施設、鉄道駅のほか、市内入浴施設があり、利用目的が多様で利便性が高く、コロナ禍においても利用が増えているバス停があるため、他のルートに比べ前々年比が高くなっていると考えられる。	・利用者数を回復に向けて、昨年実施できなかった利用促進に繋がる啓発活動を実施する。 ・啓発活動を通して、感染防止対策を周知し、引き続き安全性の発信に努める。 ・更に利用しやすい交通ネットワークの構築を目指し、ダイヤ改正案の協議を進め、ルート・ダイヤ改正の改正案を固める。 ・令和4年10月のあしがるバスのルート・ダイヤ改正に合わせ、時刻表・全体ルート図を改訂し、ルートマップ上に北名古屋コミュニティバスとの接続を明記する。	
つばめ自動車株式会社	サクラルート 1～11便 西枇杷島会館～枇杷島駅～清須市役所～はるひ呼吸器病院 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・周辺自治体を含めた公共交通ネットワークの形成については、北名古屋市のコミュニティバスとの接続を可能とし、広域的な公共交通ネットワークの構築に向けて連携を図った。 ・利用者数の回復に向けて、バス車内に抗ウイルス・抗菌施工を実施するとともに、あしがるバスにおいて実施している感染防止対策を周知し、バス利用時の安全性を発信した。	概ね事業が適切に実施できた。	・収支率【未達成】(あしがるバス全体の収支率) 目標:8.9% 実績:7.6% ・利用者数(年間)【未達成】 目標:28,800人 実績:21,221人(前年比98.3%、前々年比81.5%) ・利用者数(1便あたり)【未達成】 目標:7.3人 実績:5.4人 《分析》 収支率については、人件費や車両借上料が増加している一方で、利用者数が低迷して運賃収入が例年に比べ減少したことから、未達成となった。 利用者数については、新型コロナウイルスワクチンの個別接種に伴い、接種会場となっている病院のバス停は利用者数が一時的に大きく増加したが、コロナ禍前には多くの利用があった美術館や図書館、スポーツ複合施設などは未だ利用を控える方が多く、未達成となった。		
つばめ自動車株式会社	ブルールート 1～11便 春日公民館～清洲駅～春日公民館 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】		A	・収支率【未達成】(あしがるバス全体の収支率) 目標:8.9% 実績:7.6% ・利用者数(年間)【未達成】 目標:17,000人 実績:12,359人(前年比91.9%、前々年比79.7%) ・利用者数(1便あたり)【未達成】 目標:4.3人 実績:3.1人 《分析》 収支率については、人件費や車両借上料が増加している一方で、利用者数が低迷して運賃収入が例年に比べ減少したことから、未達成となった。 利用者数については、サクラルート同様、ワクチン接種に伴い接種会場への移動需要が高まり、一部の病院等で利用者数が増加したが、利用者の半数以上を占める清洲駅とヨシヅヤの利用者が戻らず、依然として日常の買物や電車を利用して外出する際にバスの利用を控えている方が一定数いると考えられ、未達成となった。		

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年12月20日

協議会名:	清須市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>清須市では、高齢者や主婦層等の移動制約者の交通手段を確保し、市内の移動利便性を高めるため、平成18年10月にコミュニティバスの運行を開始した。平成21年3月には、清須市地域公共交通戦略(以下、「戦略」という。)を策定し、平成27年3月には、戦略に基づき進めてきた公共交通の充実に向けた歩みをさらに推し進めていくために、清須市地域公共交通網形成計画(以下、「網形成計画」という。)を策定した。</p> <p>令和2年3月には、網形成計画の計画期間満了に伴い、現状の課題を踏まえつつ、まちづくりとの連携を図りながら、これまでの取組により形成してきた公共交通ネットワークを今後も持続的なものとするため、「清須市地域公共交通計画(以下、「公共交通計画」という。)」を策定した。</p> <p>また、公共交通計画に基づき、実際の運行を確保するため、清須市生活交通確保維持改善計画(以下、「確保維持改善計画」という。)を策定している。公共交通計画においては、清須市の交通将来像である「誰もが移動しやすいまち清須」の実現に向けた基本方針を掲げている。</p> <p>基本方針Ⅰ 既設の鉄道網を生かした地域公共交通ネットワークの形成 基本方針Ⅱ 地域公共交通を利用しやすい環境整備の推進 基本方針Ⅲ 地域公共交通事業推進のための関係者の連携</p> <p>今後も、確保維持改善計画及び公共交通計画に基づき、公共交通の充実に向けた事業を推進していく。</p>